

大原簿記法律&美容製菓専門学校和歌山校 情報提供資料

専門学校等における情報提供等への取組みに関するガイドラインに基づき、大原簿記法律&美容製菓専門学校和歌山校の情報を以下のとおり提供致します。

1. 学校の概要、目標および計画

(1) 概要

【学園名称】 学校法人 大原学園 理事長 安部辰志

【学校名称】 大原簿記法律&美容製菓専門学校和歌山校 校長 米丘 健

【所在地】 ①学園本部 〒101-8352 東京都千代田区西神田 1-2-10 TEL 03-6740-0008

②学校 〒640-8341 和歌山市黒田 88-1 TEL 073-475-8010

【創立】 1957年東京水道橋に大原簿記学校を開校し、1979年に学校法人大原学園を設立。

【設置校等】 グループ校総数 105校 (2016年4月1日現在)

①大原学園設置校[75校] 教職員総数 1,892名

■北海道 4校

札幌 大原簿記情報専門学校札幌校
札幌 大原医療福祉専門学校
札幌 大原法律公務員専門学校
函館 大原簿記公務員情報医療専門学校函館校

■東北 2校

盛岡 大原簿記情報ビジネス医療福祉専門学校盛岡校
盛岡 大原スポーツ公務員専門学校盛岡校
山形 大原簿記情報ビジネス医療福祉専門学校山形校*
山形 大原スポーツ公務員専門学校山形校*

■関東 27校

水道橋 大原大学院大学(会計専門職大学院)
水道橋 大原学園高等学校(通信制・通学型高校)
府中 府中ひばり幼稚園(年少・年中・年長)
水道橋 大原日本語学院(日本語学校)
水道橋 大原簿記学校
水道橋 東京ホテル・トラベル学院専門学校**
水道橋 大原医療秘書福祉保育専門学校
水道橋 大原法律専門学校
池袋 大原情報ビジネス専門学校
立川 大原簿記公務員医療福祉保育専門学校立川校
町田 大原簿記医療秘書公務員専門学校町田校
横浜 大原簿記情報ビジネス専門学校横浜校
横浜 大原医療秘書福祉保育専門学校横浜校
横浜 大原法律公務員専門学校横浜校
千葉 大原簿記公務員専門学校千葉校
千葉 大原医療秘書福祉専門学校千葉校
津田沼 大原簿記公務員医療情報ビジネス専門学校津田沼校
柏 大原簿記法律専門学校柏校

■北陸 8校

福井 大原簿記法律専門学校福井校
福井 大原テクノデザインアート専門学校
福井 大原スポーツ医療保育福祉専門学校
福井 大原キャリアビジネス&ペット専門学校
金沢 大原簿記法律観光専門学校金沢校
金沢 大原情報デザインアート専門学校金沢校
金沢 大原美容&ビューティー・ブライダル専門学校
金沢 大原医療福祉・製菓&スポーツ専門学校

■関西 17校

新大阪 大原簿記専門学校大阪校
新大阪 大原法律公務員専門学校大阪校
新大阪 大原子ども保育&スポーツ専門学校大阪校
新大阪 大原医療歯科専門学校大阪校
難波 大原簿記法律専門学校難波校
難波 大原情報デザインアート専門学校
難波 大原スポーツ&メディカルヘルス専門学校難波校
難波 大原外語観光&ブライダルビューティー専門学校
梅田 大原簿記法律専門学校梅田校
梅田 大原医療福祉製菓専門学校梅田校
神戸 大原簿記専門学校神戸校
京都 大原簿記法律専門学校京都校
京都 大原スポーツ&メディカル専門学校京都校
和歌山 大原簿記法律&美容製菓専門学校和歌山校
和歌山 大原情報医療保育専門学校和歌山校
姫路 大原簿記情報法律専門学校姫路校
姫路 大原医療福祉&スポーツ保育専門学校姫路校

■九州 11校

福岡 大原簿記情報専門学校福岡校

大 宮 大原簿記情報ビジネス専門学校大宮校
 大 宮 大原医療秘書福祉専門学校大宮校
 大 宮 大原こども専門学校
 大 宮 大原法律公務員専門学校大宮校
 水 戸 大原簿記情報公務員専門学校水戸校
 水 戸 大原医療福祉専門学校水戸校
 宇都宮 大原簿記情報ビジネス医療福祉専門学校宇都宮校
 宇都宮 大原スポーツ公務員専門学校宇都宮校
 高 崎 大原簿記情報ビジネス医療福祉保育専門学校
 高 崎 大原スポーツ公務員専門学校高崎校

福 岡 大原スポーツ公務員専門学校福岡校
 福 岡 大原保育医療福祉専門学校福岡校
 小 倉 大原簿記公務員専門学校小倉校
 小 倉 大原医療福祉製菓専門学校小倉校
 八 幡 大原自動車・スポーツ専門学校
 大 分 大原簿記公務員専門学校大分校
 大 分 大原医療介護福祉専門学校大分校
 熊 本 大原簿記情報専門学校熊本校
 熊 本 大原スポーツ公務員専門学校熊本校
 熊 本 大原保育医療福祉専門学校熊本校

■甲信越 6校

甲 府 大原簿記情報ビジネス医療福祉専門学校甲府校
 甲 府 大原スポーツ公務員専門学校甲府校
 長 野 大原簿記情報ビジネス医療専門学校
 長 野 大原スポーツ公務員専門学校
 松 本 大原簿記情報ビジネス医療福祉専門学校松本校
 松 本 大原スポーツ公務員専門学校松本校

* 2017年4月開校予定 事業計画中

** 2017年4月開校予定 認可申請中

②大原グループ関連校（30校）

■東 北 3校

仙 台 仙台大原簿記情報公務員専門学校
 仙 台 仙台大原公務員ゼミナール
 仙 台 仙台大原ライセンススクール

■関 東 6校

水道橋 大原予備校
 早稲田 資格の大原 早稲田校
 新 宿 資格の大原 新宿校
 渋 谷 資格の大原 渋谷校
 八王子 資格の大原 中大駅前校
 横 浜 資格の大原 日吉校

■甲信越 2校

新 潟 大原簿記公務員専門学校新潟校
 新 潟 大原医療秘書専門学校新潟校

■北 陸 1校

富 山 富山大原簿記公務員医療専門学校

■東 海 15校

静 岡 大原簿記情報医療専門学校静岡校
 静 岡 大原法律公務員専門学校静岡校
 静 岡 大原トラベル・ホテル・ブライダル専門学校静岡校
 浜 松 大原簿記情報医療専門学校浜松校
 浜 松 大原法律公務員専門学校浜松校
 浜 松 大原トラベル・ホテル・ブライダル専門学校浜松校
 沼 津 大原公務員医療観光専門学校沼津校
 沼 津 大原介護福祉専門学校沼津校
 名古屋 大原簿記情報医療専門学校
 名古屋 大原法律公務員専門学校
 名古屋 大原トラベル・ホテル・ブライダル専門学校
 岐 阜 大原簿記医療観光専門学校岐阜校
 岐 阜 大原法律公務員専門学校岐阜校
 津 大原簿記医療観光専門学校津校
 津 大原法律公務員専門学校津校

■四 国 1校

松 山 大原簿記公務員専門学校愛媛校

■九州・沖縄 2校

宮 崎 大原簿記公務員専門学校宮崎校
 那 覇 沖縄大原簿記公務員専門学校

③大原グループ研修所（3ヶ所）

川崎 大原学園登戸研修所 菅平 大原菅平ビガークラブ 富士宮 大原富士宮ビガークラブ

(2) 教育方針「専門課程（高卒・短大卒・四大卒対象）」

- 校訓 『感奮興起』、感奮は感動して奮い立つ意味を持ち、心の躍動を表します。興起は興味を持って立ちあがる意味を持ち、身体の躍動を表します。
- 目的 『簿記、税務、情報処理、法律、行政、医療、保育、福祉、スポーツ、製菓、美容、歯科衛生、自動車整備並びにこれらのビジネス等に関わる教育及び人格の陶冶を行い、有為な産業人を育成する』ことを目的としています。

■三段階教育法

大原学園では、入学から卒業までの全期間をもって完結する1つのストーリーと考え、教育プログラムを三段階（四期）に分けて構成しております。

★第一段階『成功体験期』

初めて専門教育を受ける学生が、卒業までの学習を続けられる自信をつける期間であり、各コースでの短期目標を達成することで「やればできる」という成功体験を、身を以て体験し、次のステップに向けてのモチベーションを高める期間となります。

★第二段階前期『専門学習期』

成功体験期で学習内容を絞り込んだ学習から、資格難易度の高度化、学習科目の多科目化、より実践に近い技術の習得など、コースの特色に合わせた本格的な学習を通して、高度な知識の定着と技術の習得を目的とする期間となります。

★第二段階後期『実践期』

専門学習期までに身につけた高度な知識や技術を実践に結びつける期間であり、最新実務の知識や技術を学び、実践的な学習や演習、校外実習、インターンシップ等を通じて、目標としている就職先で必要となる実践力を身につける期間となります。

★第三段階『入社準備（PCP）期』

専門性の総仕上げ、総まとめを行い、入社後には即戦力として活躍できるように最終仕上げを行う期間であり、これにより高い実践力に磨き上げて、入社後にスムーズなスタートを切れるよう教育を行う期間となります。

(3) 沿革

1957(昭和 32 年)	各種学校・大原簿記学校を創立	2003(平成 15 年)	大原日本語学院
1976(昭和 51 年)	専修学校・大原簿記学校に組織変更		簿記法律難波校
1979(昭和 54 年)	準学校法人・大原学園に組織変更		情報デザインアート難波校
1981(昭和 56 年)	大阪校を開校（以下「開校」を略する。）	2004(平成 16 年)	梅田校
1982(昭和 57 年)	学校法人・大原学園に組織変更		医療福祉製菓梅田校
	府中ひばり幼稚園を開園	2005(平成 17 年)	立川校
1985(昭和 60 年)	横浜校	2006(平成 18 年)	大原大学院大学を開学
1987(昭和 62 年)	札幌校		医療秘書福祉大宮校
1989(平成元年)	池袋校		保育医療福祉福岡校
1990(平成 2 年)	菅平校	2007(平成 19 年)	医療秘書福祉保育横浜校
	福岡校		福井校
1991(平成 3 年)	津田沼校	2009(平成 21 年)	大原学園高等学校
	大宮校		千葉校
1995(平成 7 年)	法律東京校		長野校(菅平校移転)
1996(平成 8 年)	柏校		医療歯科大阪校
1997(平成 9 年)	町田校		和歌山校
	法律公務員大宮校	2010(平成 22 年)	函館校
1998(平成 10 年)	法律公務員大阪校	2011(平成 23 年)	高崎校
1999(平成 11 年)	医療福祉札幌校		金沢校
	法律公務員横浜校	2012(平成 24 年)	宇都宮校
2001(平成 13 年)	こども保育&スポーツ大阪校	2013(平成 25 年)	水戸校
	神戸校		昂自動車・スポーツ八幡校
2002(平成 14 年)	法律公務員札幌校	2014(平成 26 年)	大分校

	医療秘書福祉保育東京校	2015(平成 27 年)	盛岡校
	京都校		松本校
	スポーツ公務員福岡校		姫路校
	簿記公務員小倉校	2016(平成 28 年)	甲府校
			熊本校

2. 各学科の教育

(1) 入学定員

学科名	入学定員	総定員
税理士・会計士学科	40名	80名
ビジネス医療保育学科	80名	160名
総合ビジネス学科1年制	40名	40名
税理士・会計士学科1年制	40名	40名
法律行政学科	80名	160名
法律事務学科1年制	40名	40名
美容学科	65名	130名
製菓学科	32名	64名
製菓学科1年制	32名	32名
合計	449名	746名

※商業実務専門課程、文化教養専門課程及び衛生関係専門課程昼間部のみ記載

(2) 受入方針

■入学資格

本校の入学資格は、次のとおりとする。

- ① 高等学校若しくはこれに準ずる学校を卒業した者
- ② 前項と同等以上の学力があると認められる者

■入学時期

本校の入学時期は、次のとおりとする。

- ① 税理士・会計士学科2年制、ビジネス医療保育学科2年制、総合ビジネス学科1年制、法律行政学科2年制、法律事務学科1年制、美容学科2年制、製菓学科(1年制・2年制)は毎年4月とする。
- ② 税理士・会計士学科1年制は毎年9月とする。

■入学手続き・許可

本校の入学手続きは、次のとおりとする。

- ① 本校に入学しようとする者は、本校の定める入学願書その他の書類に必要事項を記載し、出願しなければならない。
- ② 前号の手続きを終了した者に対して書類審査または必要に応じて試験を行い、入学者を決定する。
- ③ 本校に入学を許可された者は、入学許可の日から10日以内に第23条に定める入学金を添えて入学手続きをとらなければならない。
- ④ 本校に入学しようとする者は、入学願書提出時に第23条に定める入学検定料を納付しなければならない。

(3) カリキュラム

①税理士・会計士学科

総履修時間 2,000 時間 (各学年 1,000 時間) 週 25 時間

②ビジネス医療保育学科

総履修時間 2,000 時間 (各学年 1,000 時間) 週 25 時間

③総合ビジネス学科 1 年制

総履修時間 1,000 時間 週 25 時間

④税理士・会計士学科 1 年制

総履修時間 1,000 時間 週 25 時間

⑤法律行政学科

総履修時間 2,000 時間 (各学年 1,000 時間) 週 25 時間

⑥法律事務学科 1 年制

総履修時間 1,000 時間 週 25 時間

⑦美容学科

総履修時間 2010 時間 (入学年度 1,020 時間、翌年 990 時間) 週 25 時間

⑧製菓学科

総履修時間 2000 時間 (入学年度 1,020 時間、翌年 980 時間) 週 25 時間

⑨製菓学科 1 年制

総履修時間 1020 時間 週 25 時間

※昼間部のみ記載

(4) 進級、卒業要件等

本校に在学し、下記に定める授業時数以上履修し、かつ、その該当する所定の授業科目について合格に達して卒業資格を得た者には、卒業証書を授与する。

①税理士・会計士学科 1,700 時間

②ビジネス医療保育学科 1,700 時間

③総合ビジネス学科 1 年制 800 時間

④税理士・会計士学科 1 年制 800 時間

⑤法律行政学科 1,700 時間

⑥法律事務学科 800 時間

⑦美容学科 1,700 時間 ※

⑧製菓学科 1,700 時間

⑨製菓学科 1 年制 850 時間

※美容学科については、出席状況が不良の者(欠席が出席すべき教科科目の3分の1、実習を伴う教科科目にあっては5分の1を超える者)については卒業を認めない。

(5) 専門士・高度専門士の称号付与

①税理士・会計士学科(2年制)、ビジネス医療保育学科(2年制)を卒業された方には「専門士(商業実務専門課程)」の称号が付与されます。

②法律行政学科(2年制)を卒業された方には「専門士(文化教養専門課程)」の称号が付与されます。

③美容学科(2年制)、製菓学科(2年制)を卒業された方には「専門士(衛生関係専門課程)」の称号が付与されます。

(6) 目標とする国家試験、検定試験等

- ①会計系試験：日商簿記検定、税理士試験、公認会計士試験など
- ②ビジネス系試験：ファイナンシャルプランニング技能検定など
- ③スポーツ系試験：健康運動実践指導者など
- ④公務員試験：各種公務員試験など
- ⑤ホテル系試験：ホテルビジネス実務検定など
- ⑥ブライダル系試験：アシスタント・ブライダル・コーディネーター試験など
- ⑦ビューティー系試験：認定エステティシャン資格、JNEC ネイリスト技能認定試験、JMA メイクアップ技術検定など
- ⑧美容系試験：美容師国家試験など
- ⑨製菓系試験：製菓衛生師試験など

(7) 主たる国家試験、検定試験等の合格実績（平成27年度学園実績）

- ①会計系試験：日商簿記検定 1級 226名、2級 1,026名
税理士試験 19名、公認会計士試験論文式 38名
- ②ビジネス系試験：FP検定 2級 42名、3級 287名
- ③スポーツ系試験：健康運動実践指導者 106名
- ④公務員試験：1次試験のべ合格者 17,390名
【試験区分別】
 - 国家（大卒程度）・地方上級・地方中級等 2,133名
 - 国家（高卒程度）・地方初級等 15,257名【職種別】
 - 都道府県庁等職員 1,498名
 - 市役所・区役所等職員 2,793名
 - 警察官・消防官・自衛官等 10,809名
 - 国家公務員等 2,290名
- ⑤ホテル系試験：ホテルビジネス実務検定 59.0%（関西圏実績：受験者22名中合格者13名）
- ⑥ブライダル系試験：アシスタント・ブライダル・コーディネーター試験 60%（関西圏実績：受験者20名中合格者12名）
- ⑦ビューティー系試験：認定エステティシャン資格 100%（関西圏実績：受験者7名中合格者7名）
JNEC ネイリスト技能検定2級 22.2%（関西圏実績：受験者9名中合格者2名）
JMA メイクアップ技術検定2級 100%（関西圏実績：受験者11名中合格者11名）
- ⑧美容系試験：美容師国家試験 100%（関西圏実績：受験者4名中合格者4名）
- ⑨製菓系試験：製菓衛生師試験 81.8%（関西圏実績：受験者11名中合格者9名）

(8) 卒業生の進路（2016年3月卒業生学園実績：2016年3月15日現在）

- ①全国専門課程就職率 97.9%（就職希望者5,605名中5,489名）
- ②関西圏専門課程就職率 98.2%（就職希望者788名中774名）
- ③全国専門課程公務員1次試験合格率 93.7%（受験者5,665名中合格者5,310名）
- ④関西圏専門課程公務員1次試験合格率 96.1%（受験者1,093名中合格者1,051名）

⑤主な就職先

日本 IBM、パナソニック、有限責任監査法人トーマツ、PwC あらた監査法人
税理士法人タックスワン、デトロイトトーマツ税理士法人、富士重工業、プリンスホテル
山崎製パン、三越伊勢丹、セブン-イレブン・ジャパン、イオンリテール、日本郵便
サマンサタバサジャパンリミテッド、HIS、JTB コーポレートセールス、伊藤園、エイブル
オンワード樫山、セントラルスポーツ、イトマンスイミングスクール、東京メトロ
首都圏新都市鉄道、ニュー・オータニ、ロイヤルパークホテル、セルリアンタワー東急ホテル
ソフトバンク・テクノロジー、NSD、JR 西日本、株式会社アドヴァンス、フジッコ株式会社、
和歌山県一般事務、和歌山県学校事務、和歌山県警、海南市職員、海南市消防官、株式会社セ
ルモ、和歌山ターミナルビル株式会社ホテルグランヴィア和歌山、株式会社リトルバンブー、
ル・パティシエミキ

他多数の優良企業に内定。

3. 教職員

(1) 教職員数

学則に規定する下記の教職員が在席しています。

校長 1 名 教員 33 名以上 事務職員 2 名

(2) 教職員の専門性

① 保有資格：日商簿記 1 級をはじめとし、各コースの各種国家試験、検定試験と同等以上の資格を有する。

② 教員研修：企業等と連携し以下の教員研修を実施して、教員の専門性を維持向上させている

(ア) 専門知識

- ・会計系 会計知識
- ・ビジネス系 マーケティング
- ・スポーツ系 スポーツ（トレーニング、専門科目理論）教員研修会
- ・公務員 政治・経済
- ・ホテル、ブライダル系 ホテルウエディング業界知識
- ・ビューティー系 ビューティー業界知識
- ・美容 美容師国家試験技術指導研修
- ・製菓 製菓技術の向上研修

(イ) 指導力

講義力研修（各コース）、実習担当教員勉強会（美容、製菓）

4. キャリア教育・実践的職業教育

(1) キャリア教育

大原学園では学生一人ひとりの「幸せな就職」をテーマに、就職後に即戦力として活躍するためのキャリア教育を入学時のカリキュラムに取り入れ実践しています。主なものは以下のとおりです。

- ① 入学時：就職ガイダンス（将来の目標確認）
- ② 1 年生 4 月～7 月：就職の心構え、自己分析、SPIP-3 対策テスト（MSR-P I・II）
- ③ 1 年生 8 月～12 月：自己分析、自己 PR 作成、面接練習、業界研修・企業研究
- ④ 1 年生 1 月～3 月：学内企業セミナー、業界研修・企業研究、官庁研究、模擬面接
- ⑤ 2 年生 4 月～8 月：学生個人の特性を考慮した就職求人紹介
- ⑥ 2 年生 9 月～1 月：P-C-P（プレ・キャリア・プログラム）教育

(2) 実習・実技等

大原学園では実習、実技に注力し、実践的な教育カリキュラム編成を行なっています。様々な実習実技がありますが特に以下の実習では、カリキュラム編成、実習運営、成績評価について、企業と連携した実践的な講義内容となっています。

授業科目	対象	年次	履修時間	連携企業
簿記論応用	税理士コース	2年次	120時間	山口一雄税理士事務所
	公認会計士コース	2年次	120時間	山口一雄税理士事務所
職業実践演習Ⅰ（中級）	ビジネス系コース	2年次	120時間	イオンリテール株式会社
	スポーツ系コース			
	ホテル・ブライダル・ビューティー系コース			
職業実践演習Ⅰ（上級）	ビジネス系コース	2年次	120時間	イオンリテール株式会社
	スポーツ系コース			
	ホテル・ブライダル・ビューティー系コース			
社会科学Ⅱ（経済）	法律行政学科	1年次	40時間	日本大学
美容実習	美容コース	1年次	56時間	(株)仁インターナショナル 他
		2年次	56時間	Plaisir SHIMA 他
製菓	製菓コース	2年次	80時間	ル・パティシエ ミキ 他

(3) 就職支援等

大原学園では学生の就職活動が円滑に進むように、多くの企業と連携して学内イベント等を開催しています。また、学生が不安なく就職活動に臨めるように、担任が準備から実際の活動まで様々なサポートを行います。

①企業等と連携した支援

- (ア) ファッションセミナー
- (イ) 学内企業セミナー
- (ウ) 学内採用説明会・採用試験
- (エ) 人事担当者セミナー
- (オ) 公官庁見学会

②担任による就職支援

- (ア) 自己分析面談、自己PR作成支援
- (イ) 求人紹介
- (ウ) 志望企業研究支援
- (エ) 公務員職種研究支援

5. 様々な教育活動、教育環境

大原学園では資格取得教育のみならず、多彩な学校行事や課外活動を通じて学生のコミュニケーション能力、企画力、実行力等の社会適応能力の育成に注力しています。

(1) 学校行事

- 4月・・・入学式、オリエンテーション（1年生対象）
- 5月～11月・・・リフレッシュ研修（1年生対象）
- 10月・・・スポーツフェスティバル
- 11月・・・AOCC 電卓競技大会、スポーツチャンピオンズカップ

- 12月・・・海外研修
- 1月・・・合格祝賀会
- 3月・・・卒業式、卒業記念パーティー（卒業生対象）

(2) 課外活動

①クラブ活動

- 野球部・・・大原スポーツチャンピオンズカップ
- サッカー部・・・大原スポーツチャンピオンズカップ
- バスケット部・・・大原スポーツチャンピオンズカップ
- バレー部・・・大原スポーツチャンピオンズカップ
- バドミントン部・・・大原スポーツチャンピオンズカップ
- 卓球部・・・大原スポーツチャンピオンズカップ
- 電卓部・・・全日本電卓競技大会、AOCC電卓大会

②地域貢献

学校周辺の清掃活動、附帯教育事項

6. 学生の生活支援

大原学園では学生一人ひとりが充実した学生生活を送れるように様々なサポートを行なっています。

(1) 完全担任制

完全担任制により出席管理、生活指導、進路指導を行っており、個人面談の機会を多く設け学校生活における様々な悩みを担任と共に解消していく環境を整えております。また、定期的なアンケートを実施して充実感、不安感などの把握にも務めています。

(2) 就職教育、

「幸せな就職」をテーマにして担任は学生の特性を引き出すための個人面談を継続的に実施します。その上で、求人紹介は担任が責任を持って行い、就職内定先とのミスマッチを最低限に抑えられるように取り組んでいます。

7. 学生納付金・修学支援

(1) 和歌山校の学費

①全コース（夜間系コースを除く）

(単位：円)

	納入日	入学金	授業料	教材費	維持費	合計
1年次 納入金	前期：入学手続時	200,000	300,000	40,000	50,000	590,000
	後期：平成28年8月31日	—	300,000	40,000	50,000	390,000
2年次 納入金	前期：平成29年2月28日	—	300,000	40,000	50,000	390,000
	後期：平成29年8月31日	—	300,000	40,000	50,000	390,000

②夜間系コース

(単位：円)

	納入日	入学金	授業料	教材費	維持費	合計
1年次 納入金	前期：入学手続時	100,000	200,000	40,000	10,000	350,000
	後期：平成28年8月31日	—	200,000	40,000	10,000	250,000

- 1年制コースは1年次納入金と同一金額です。(ビジネスライセンス系コースの学費はお問い合わせ下さい。)
- 実習・演習費、学外研修費、検定受験料、卒業にかかる費用が別途必要になります。なお、費用は各コースにより異なりますので詳細はお問い合わせ下さい。
- コースにより実習用具、消耗品等の購入が必要になります。なお、費用は各コースにより異なりますので詳細はお問い合わせ下さい。
- 入学手続時納入金は、合格通知に記載されている指定期日（合格通知発行日より約2週間）までに納入して下さい。
- 前期・後期各80,000円（製菓系のみ前期・後期各160,000円）の実習・演習費が別途必要となります。授業料等の納入日に、併せて納入していただきます。なお、夜間系コースは実習・演習費は不要です。
- 大原学園では授業延長や補習に関する費用等は徴収しません。
- 入学手続完了後平成28年3月31日以前に入学辞退を希望する場合は、本学所定の学費返還手続により納入金額から入学金を除いた額を返還できます。
- 一旦納入された入学金については、入学手続完了前であっても返還できません。なお、大原学園に再入学される方は入学金は不要です。

(2) 奨学金、授業減免等

①試験による特別奨学生制度

大原学園では、がんばる人を支援するために「試験による特別奨学生制度」を実施しています。この制度は、大原独自の特別奨学生試験の結果に応じて入学金・授業料の全額または一部を免除するものです。詳しいご紹介については HP で公開しております。

<http://www.o-hara.ac.jp/osaka/senmon/support/test/>

②資格・クラブ活動による特別奨学生制度

大原学園では、がんばる人を支援するために「資格・クラブ活動による特別奨学生制度」を実施しています。この制度は、大原学園入学までに取得した資格や成績を一定のランクに認定し、そのランクに応じて入学金・授業料の全額または一部を免除するものです。詳しいご紹介については HP で公開しております。

<http://www.o-hara.ac.jp/osaka/senmon/support/qualification/>

<http://www.o-hara.ac.jp/osaka/senmon/support/club/>

③留学生を対象とした学費減免制度

高い目的意識を持って大原学園で学ぼうとする留学生を応援する制度です。一定の条件を満たした方は推薦制度を利用して学費の減免が受けられます。詳しいご紹介については HP で公開しております。

<http://www.o-hara.ac.jp/ryugaku/>

④その他

国の教育ローン、日本学生支援機構の奨学金等の公共機関等の制度のご紹介も行っていますので、ご相談ください。

8. 学校の財務

HP で公開しております。

<http://www.o-hara.ac.jp/about/hyoka/pdf/2016/financial-overview.pdf>

9. 学校評価

HP で公開しております。

<http://www.o-hara.ac.jp/about/hyoka/pdf/2016/evaluation/02-39.pdf>

10. 国際連携の状況

(1) 留学生の受入

①入学手続き（資格・選考）について

出願資格は以下の条件を全て満たす方となります。また、日本語の講義についていけるかどうかを確認するための面接試験を行います。

(ア) 外国において正規の課程による12年間（日本の高等学校と同等以上）の学校教育を修了（卒業）した方

(イ) 日本語教育機関において6ヵ月以上の教育を受け、かつ一定の日本語能力を有している方

(ウ) 日本語学校における出席率がおおよそ90%以上の方

(エ) 日本語教育機関、または日本語教育機関の教員から推薦が得られる方

※なお、一定の条件を満たす方は留学生推薦制度による学費減免を利用することが出来ます。

②入学後の生活について

(ア) 日本での就職を目指して、各種資格取得を目指します。全ての学習内容について、担任の先生がサポートを行ないます。

(イ) 様々な学校行事を通じて、日本人学生との交流が出来ます。また、日本文化に触れてもらうため行事への参加も行ないます。

③卒業後の進路について

日本企業への就職だけでなく、大学、大学院への進学者もいます。

【学校情報の提供に関するお問い合わせ先】

大原学園では、本学園の情報提供指針に基づいて情報を公開しております。

<問合せ先>

学校法人 大原学園 大原簿記法律&美容製菓専門学校和歌山校

〒640-8341 和歌山県和歌山市黒田88-1 TEL073-475-8010